

協働のまちづくり行動計画令和4年度実施状況調査結果概要

《行動計画の概要》

掲載事業：102事業

【プロセス1】情報を得る(知る)・・・9事業

▶市民に対し『協働のまちづくり』の意識啓発と、市をより知ってもらうため、情報の収集や発信を行います。

【プロセス2】意識を高める(学ぶ)・・・16事業

▶『協働のまちづくり』に取り組む市民が自ら学び、人材を育てる仕組みづくりを進めます。

【プロセス3】夢を描く(集う)・・・16事業

▶『協働のまちづくり』が活発に行われるように、市民への支援を行うとともに、行政内部においても、職員が積極的に地域活動に参加するための意識改革などに取り組みます。

【プロセス4】夢を実現させる(創る)・・・57事業

▶人々が想い描く、それぞれの理想のまちを実現するため『協働のまちづくり』を推進します。

【プロセス5】成果を振り返る(確かめる)・・・4事業

▶『協働のまちづくり』に取り組んだ結果や成果について評価を行います。その評価に基づき、次の事業実施の計画づくりに役立てていきます。

1 令和4年度取組内容

別紙調査結果一覧のとおり

2 協働の相手

協働の相手		プロセス1	プロセス2	プロセス3	プロセス4	プロセス5	計
①	地域住民	8	13	3	28	1	53
②	社会貢献活動団体	3	9	5	29	1	47
③	公益法人等	1	5	4	15	0	25
④	企業等	3	5	1	14	0	23
⑤	地域団体	2	7	10	30	0	49
⑥	大学等	0	3	0	3	0	6
⑦	その他	2	7	5	15	0	29
計		19	49	28	134	2	232

(※)別紙一覧の「協働の相手①～⑦」欄を集計したもの。一つの団体に限らず、複数団体を含む事業もあり。

3 事業の評価(自己評価)

▶ 評価基準

- A: 計画より早く進行又は計画どおり進行し、目標値(R4)を達成した(※1)
- B: 目標値(R4)に対し、令和4年度の事業計画は、着実に進行した
- C: 目標値(R4)に対し、令和4年度の事業計画は、概ね進行した(※2)
- D: 停滞している、未実施
- E: 事業廃止 (※3)

(※1) 目標値は当初 R3 年度で設定しているが、1年延伸のため R4 で達成を見込むものとして評価

(※2) 目標値より下回ってしまったが、「協働」による効果が見られた場合等

(※3) 事業廃止、事業統合等

▶ 結果

評価	プロセス1	プロセス2	プロセス3	プロセス4	プロセス5	計
A	1	3	3	6	1	14
B	4	4	3	16	1	28
C	3	7	6	24	1	41
D	0	2	3	7	0	12
E	1	0	1	4	1	7
計	9	16	16	57	4	102

4 「効果」又は「理由及び改善策」

別紙調査結果一覧のとおり

5 目標指標の状況

別紙調査結果一覧のとおり

6 総合評価

事業の評価については、A～Eまでの5段階で、事業担当課の自己評価によるものです。

令和4年度は、C評価以上の事業数は83事業(81.4%)でした。

令和元年度は93事業(91.2%)でしたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止になった事業が多く、31事業(30.4%)減の62事業(60.8%)でした。代替事業や開催方法を変更するなど、各課の工夫と努力により、令和4年度のC評価以上の事業数は令和3年度と比較して11事業(10.8%)増加しました。また、D評価以下の事業数については、19事業(18.6%)となり、令和3年度の30事業(29.4%)から11事業(10.8%)減少しました。

令和5年度は協働の取組を見直し計画の進行管理に着目した第4期計画の初年度となります。引き続き、協働の効果を高めるため指標・目標値に近づくよう取り組んでいきます。